

東北のHC「ダイユー・リック」

バローHDが子会社化

店舗規模拡大

バローホールディングス(HD)は8日、東北地方を中心にホームセンターを展開する東証1部上場のダイユー・リックHD(福島市、浅倉俊一社長)の普通株式の50%(議決権ベース)を取得し、2019年4月1日付で連結子会社化する、と発表した。100%子会社のホームセンターバローの全発行済み株式を、ダイユー・リックHDの普通株式と株式交換する。バローHD全体のホームセンターは124店、ペットショップは103店になり、ペットショップは業界2位の店舗数になる見通し。店舗名はそれぞれ継続する。

ホームセンターバローは、東海4県で36店舗を展開。共同仕入れや共同開発

物流センターの共同利用などの相乗効果を見込んでいる。ダイユー・リックHDは同日付でアレナザHDに名称変更する。社長は変わらない。

バローHDは、11年9月からプライベートブランド

商品を提供するなど取引関係があり、ホームセンター事業の生き残りをかけ、今年6月から協議を進めてきた。

バローHDの田代正美会長兼社長は「非食品の分野

は売り上げ規模で利益率が変わり、バイイングパワー(規模による仕入れ力・購買力)が効く。ホームセンター強化が一番の狙いだ」と強調した。

ダイユー・リックHDは、ダイユー・エイとリックコーポレーションが統合して16年9月に設立。東北地方や中国地方にホームセンターやペットショップなど計194店を展開する。18年2月期の連結売上高は813億8800万円。